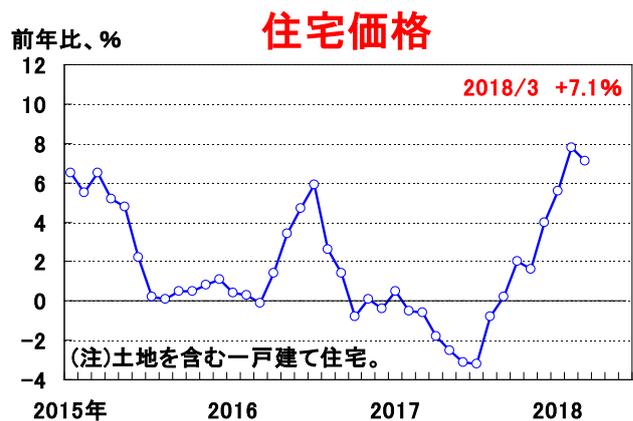
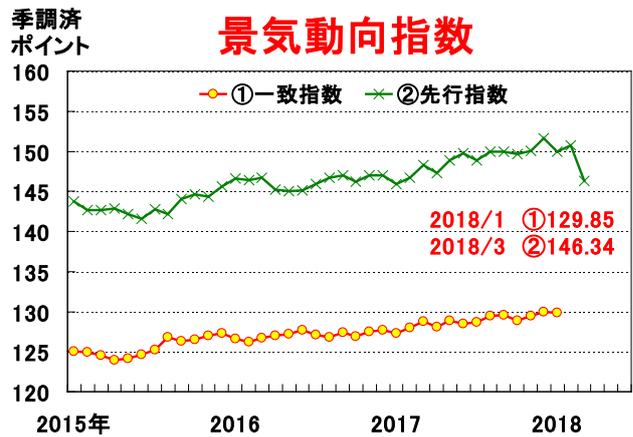
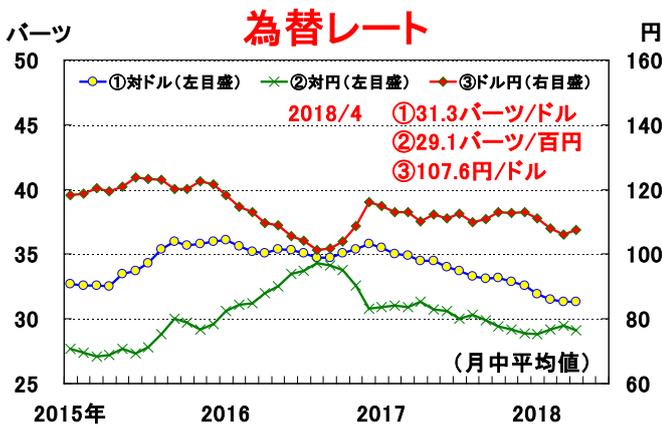
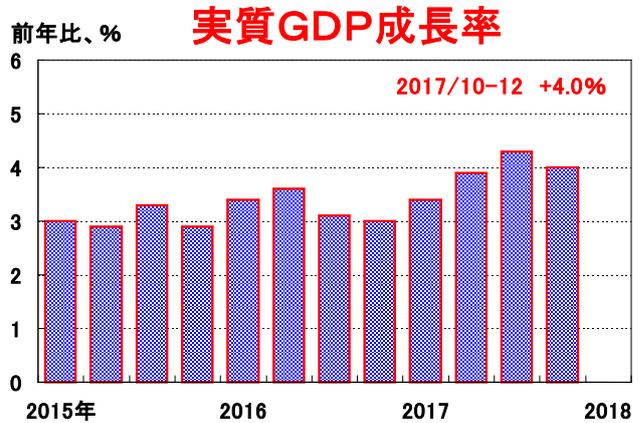
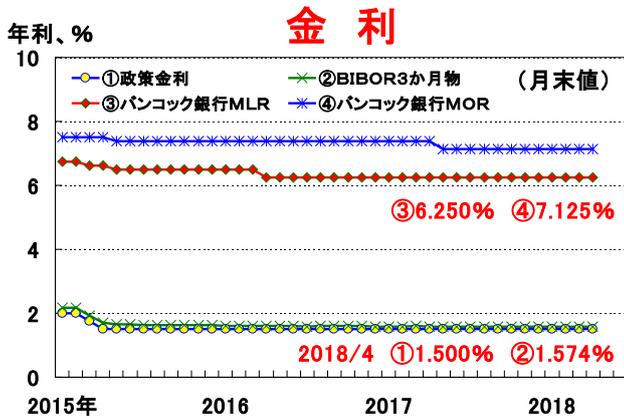


# グラフで見るタイ経済 2018年5月号(No. 107)

タイ経済は企業部門に弱含みの動きがみられる。3月の輸出は前年比+7.1%と、2017年2月以来の低い伸びとなった。輸出を主要地域別にみると、米国向けが加速したものの、日本向けは大幅に減速し、中国向けも減少に転じた。また、主力産業の自動車の生産台数は3月に前年比+9.2%と、前月(同+15.4%)に比べて増勢が弱まった。4月の企業景況指数も49.5と1年ぶりに中立水準(50)を下回り、企業マインドも足元で悪化している。一方、家計部門に関しては、3月の個人消費指数が前月比+0.2%と2か月連続で上昇した。



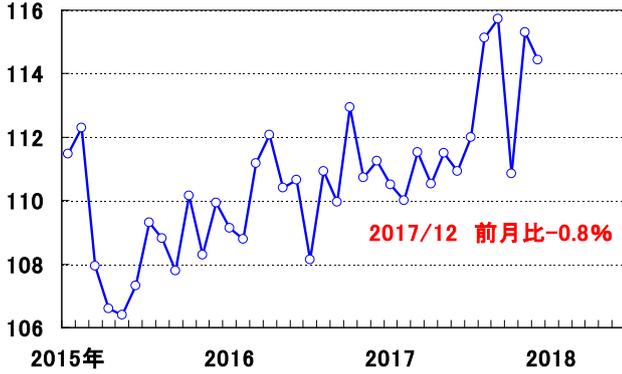
【今月のトピック:副首相がTPP加盟の意向を表明】 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)の交渉を担当する茂木敏充経済再生担当相は、5月1日にソムキット副首相と対談した。会談の席上、タイ側からはTPPへの加盟の意向が表明された。タイ政府は以前からTPP加盟に関心を持っていたものの、2017年の米国のTPP協定離脱後は、情勢を慎重に検討してきた。タイの輸出に占めるTPP加盟国向けの割合は約3割であり、関税撤廃の効果は大きいと考えられる。現在、タイ政府は国内産業との調整を進めており、早ければ年内にも参加が正式表明されることが予想されている。

(出所) タイ中央銀行、タイ国家経済社会開発委員会(NESDB)、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

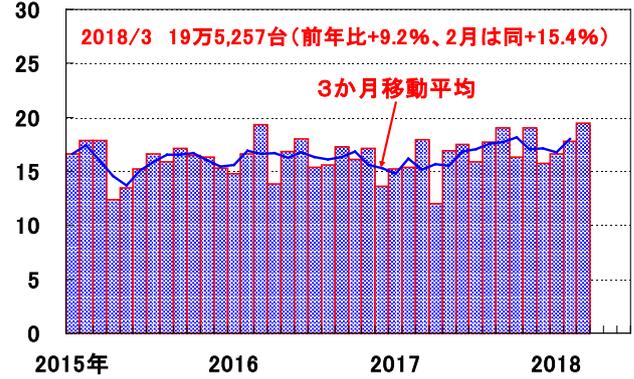
季調済  
2000年=100

### 工業生産指数

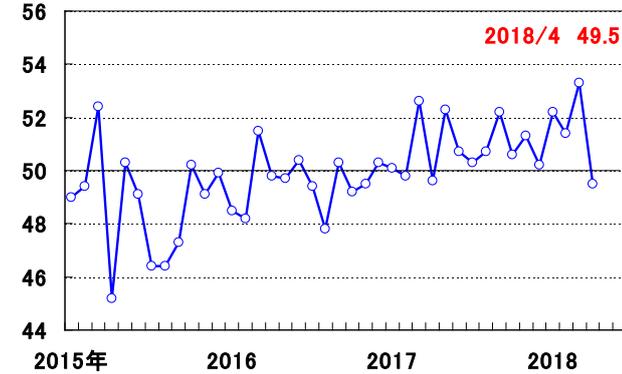


万台

### 自動車生産台数



中立水準=50 企業景況指数(BSI)



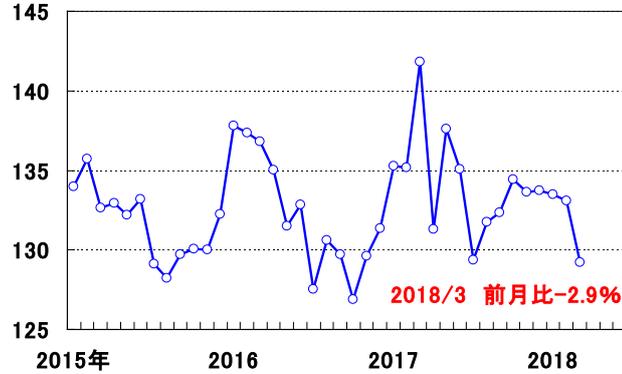
季調済  
2000年=100

### 個人消費指数



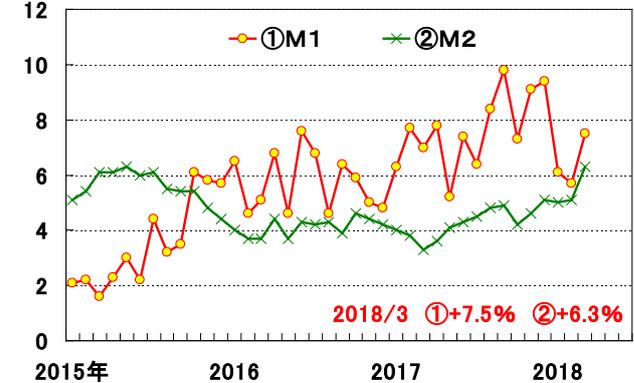
季調済  
2010年=100

### 民間投資指数



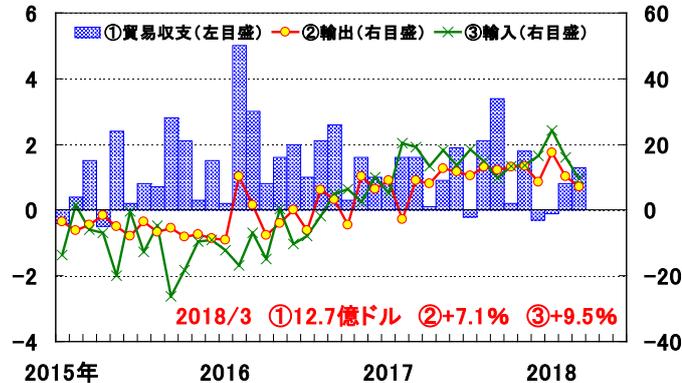
前年比、%

### マネーサプライ



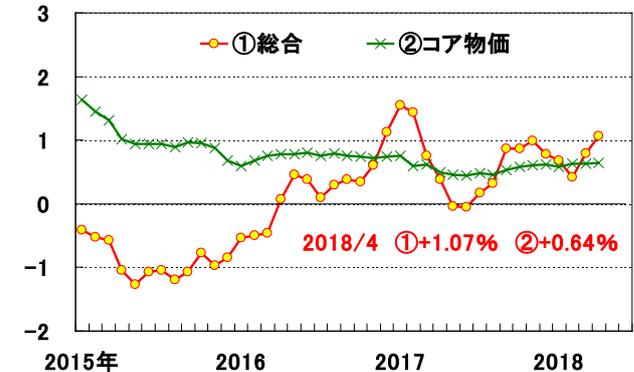
10億ドル

### 貿易収支



前年比、%

### 消費者物価指数



(出所) タイ工業省、タイ中央銀行、タイ国家統計局、タイ工業連盟 (FTI)

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用にはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。